

岡山県立倉敷まきび支援学校 第2回 学校運営協議会 議事録

開催日：令和6年10月22日(火)
会場：大会議室

開会あいさつ・学校運営協議会会長について（金島校長）

会長を務めてくださっていた中山様が逝去された。開校の頃からずっとご尽力をいただき、被災の際にも励ましの言葉をいただいた。ご冥福をお祈りしたい。会長代行を副会長の瀬本様にお願いしている。

先日行われた、まびふれあい公園を活用した避難訓練では地域の方にもお世話になった。地域としてできること、地域と一緒にできることを今後も一緒に考えていきたい。

高等部生徒のスクールバス利用に関する署名が県議会に提出された。校長会からも県教育委員会に陳情をしているところである。

学校評価について

アンケート項目の説明を行った。11月の実施に向けて準備をしていく。

学校の取り組みについて

地域との連携や交流学习、生徒指導を中心に、全校や各学部の取り組みの説明を行った。

授業参観

就労班・教育班は高等部、環境・安全班は中学部・肢体不自由部門、福祉班は肢体不自由部門・小学部を中心に児童生徒の活動の様子を参観した。

グループ協議

就労班

地域や外部の方に本校の児童生徒の理解を促すために、販売の機会を増やしたり、販売の際にポスターを掲示したりするなどの取り組みを今後検討していくのもよいのではないかと。また、フルタイムの勤務を希望しない生徒とそれを求める企業とのマッチングを推進していけば、双方にとって有益なのではないかという意見が出た。

環境・安全班

前期で行った活動（田植え、土師邸での活動、真備・船穂総おどりの参加、まびふれあい公園への避難訓練等）の報告を行った。また、避難所体験や公民館分館の清掃等、今後の活動予定の確認を行った。

地域の花壇の管理は、児童生徒の学習の場として残したい反面、地理的、時間的な理由からなかなか行くことができていない実情もあるため、今後の検討事項としたい。

福祉班

まきびカフェは第1回が臨時休校により延期になった。外部からの申し込みもあったため残念であったが、今後も学校外にも広報し、地域の保護者の交流の場となるようにしたい。

ホッと相談会（出張相談会）は小・中学部の個人懇談に合わせて実施した。来年度に向けて、高等部の保護者のニーズにも応えられる形を探りたい。相談会では、相談だけではなく福祉につなげるところまでしていただくので大変ありがたい。

教育班

真備地区には、幼・小・中・高があり、近隣に大学もあり、それを支える地域がある。現在は個々とのつながりは持っているが、真備地区全体でつながるという視点でも活動を考えていきたい。

閉会あいさつ（瀬本さん）

授業見学を通して、子ども達の様子で新たな発見もあった。第3回の学校運営協議会もご協力をお願いしたい。